

報告品目・新キット製品が薬価収載されましたのでお知らせいたします。

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
1	117	内用薬	レクサプロ錠20mg	20mg1錠	303.50円	持田製薬	エスシタロ プラムシ ウ酸塩	うつ病・うつ状態、社会不安障害	通常、成人にはエスシタロプラムとして10mgを1日1回夕食後に経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減するが、増量は1週間以上の間隔をあけて行い、1日最高用量は20mgを超えないこととする。	再審査期間中の規格追加
2	325	内用薬	イノラス配合経腸用液	10mL	15.60円	イーエヌ大塚製薬	経腸成分栄養剤	一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたる、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する。	通常、成人標準量として1日562.5～937.5mL(900～1,500kcal)を経管又は経口投与する。経管投与の投与速度は50～400 mL/時間とし、持続的又は1日数回に分けて投与する。経口投与は1日1回又は数回に分けて投与する。なお、年齢、体重、症状により投与量、投与速度を適宜増減する。	類似処方医療用配合剤
3	229	注射薬	ソレア皮下注75mgシリンジ	75mg0.5mL1筒	23,195円	ノバルティスファーマ	オマリズマブ(遺伝子組換え)	1.気管支喘息(既存治療によっても喘息症状をコントロールできない難治の患者に限る) 2.特発性の慢性蕁麻疹(既存治療で効果不十分な患者に限る)	1.気管支喘息 通常、オマリズマブ(遺伝子組換え)として1回75～600mgを2又は4週間毎に皮下に注射する。1回あたりの投与量並びに投与間隔は、初回投与前の血清中総IgE濃度及び体重に基づき、投与量換算表により設定する。 2.特発性の慢性蕁麻疹 通常、成人及び12歳以上の小児にはオマリズマブ(遺伝子組換え)として1回300mgを4週間毎に皮下に注射する。	新キット製品
4	249	注射薬	ゴナックス皮下注用240mg	240mg1瓶(溶解液付)	34,850円	アステラス製薬	デガレリクス酢酸塩	前立腺癌	通常、成人にはデガレリクスとして、初回は240mgを1カ所あたり120mgずつ腹部2カ所に皮下投与する。2回目以降は、初回投与4週間後より、維持用量を投与する。4週間間隔で投与を繰り返す場合は、デガレリクスとして80mgを維持用量とし、腹部1カ所に皮下投与する。12週間間隔で投与を繰り返す場合は、デガレリクスとして480mgを維持用量とし、1カ所あたり240mgずつ腹部2カ所に皮下投与する。 初回投与：1カ所あたり、本剤120mg/バイアルに日本薬局方注射用水3.0mLを注入し、溶解後速やかに3.0mLを皮下投与する。(3.0mLで溶解することにより、40mg/mLとなる。) 維持用量を4週間間隔で投与する場合は：本剤80mg/バイアルに日本薬局方注射用水4.2mLを注入し、溶解後速やかに4.0mLを皮下投与する。(4.2mLで溶解することにより、20mg/mLとなる。) 維持用量を12週間間隔で投与する場合は：1カ所あたり、本剤240mg/バイアルに日本薬局方注射用水4.2mLを注入し、溶解後速やかに4.0mLを皮下投与する。(4.2mLで溶解することにより、60mg/mLとなる。)	新用量、再審査期間中の規格追加

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
5	399	注射薬	エタネルセプトBS皮下注10mgシリンジ1.0mL「TY」	10mg1mL1筒	3,773円	YLバイオロジクス	エタネルセプト(遺伝子組換え) [エタネルセプト後続2]	<p>既存治療で効果不十分な下記疾患</p> <p>関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)</p> <p>多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎</p>	<p>(関節リウマチ)</p> <p>本剤を、通常、成人にはエタネルセプト(遺伝子組換え) [エタネルセプト後続2]として10~25mgを1日1回、週に2回、又は25~50mgを1日1回、週に1回、皮下注射する。</p> <p>(多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎)</p> <p>本剤を、通常、小児にはエタネルセプト(遺伝子組換え) [エタネルセプト後続2]として0.2~0.4mg/kgを1日1回、週に2回、皮下注射する。(小児の1回投与量は成人の標準用量(1回25mg)を上限とすること)</p>	バイオ後続品
			エタネルセプトBS皮下注25mgシリンジ0.5mL「TY」	25mg0.5mL1筒	9,175円					
			エタネルセプトBS皮下注50mgシリンジ1.0mL「TY」	50mg1mL1筒	18,060円					
			エタネルセプトBS皮下注50mgペン1.0mL「TY」	50mg1mL1キット	18,194円					
6	399	注射薬	シンボニー皮下注50mgオートインジェクター	50mg0.5mL1キット	121,539円	ヤンセンファーマ	ゴリムマブ(遺伝子組換え)	<p>既存治療で効果不十分な関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)</p> <p>中等症から重症の潰瘍性大腸炎の改善及び維持療法(既存治療で効果不十分な場合に限る)</p>	<p>関節リウマチ</p> <p>メトトレキサートを併用する場合</p> <p>通常、成人にはゴリムマブ(遺伝子組換え)として50mgを4週に1回、皮下注射する。なお、患者の状態に応じて1回100mgを使用することができる。</p> <p>メトトレキサートを併用しない場合</p> <p>通常、成人にはゴリムマブ(遺伝子組換え)として100mgを4週に1回、皮下注射する。</p> <p>潰瘍性大腸炎</p> <p>通常、成人にはゴリムマブ(遺伝子組換え)として初回投与時に200mg、初回投与2週後に100mgを皮下注射する。初回投与6週目以降は100mgを4週に1回、皮下注射する。</p>	新キット製品
7	429	注射薬	トラスツズマブBS点滴静注用60mg「ファイザー」	60mg1瓶	13,683円	ファイザー	トラスツズマブ(遺伝子組換え) [トラスツズマブ後続3]	<p>HER2過剰発現が確認された乳癌</p> <p>HER2過剰発現が確認された治癒切除不能な進行・再発の胃癌</p>	<p>HER2過剰発現が確認された乳癌にはA法を使用する。HER2過剰発現が確認された治癒切除不能な進行・再発の胃癌には他の抗悪性腫瘍剤との併用でB法を使用する。</p> <p>A法：通常、成人に対して1日1回、トラスツズマブ(遺伝子組換え) [トラスツズマブ後続3]として初回投与時には4mg/kg(体重)を、2回目以降は2mg/kgを90分以上かけて1週間間隔で点滴静注する。</p> <p>B法：通常、成人に対して1日1回、トラスツズマブ(遺伝子組換え) [トラスツズマブ後続3]として初回投与時には8mg/kg(体重)を、2回目以降は6mg/kgを90分以上かけて3週間間隔で点滴静注する。</p> <p>なお、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。</p>	バイオ後続品
			トラスツズマブBS点滴静注用150mg「ファイザー」	150mg1瓶	31,858円					

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価(円)	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	備考
8	634	注射薬	イロクテイト静注用4000	4,000国際単位1瓶(溶解液付)	306,641円	サノフィ	エフラクトコグアルファ(遺伝子組換え)	血液凝固第Ⅷ因子欠乏患者における出血傾向の抑制	本剤を添付の溶解液全量で溶解し、数分かけて緩徐に静脈内に注射する。 通常、1回体重1kg当たり10～30国際単位を投与するが、患者の状態に応じて適宜増減する。 定期的に投与する場合、通常、1日目に体重1kg当たり25国際単位、4日目に体重1kgあたり50国際単位から開始し、以降は患者の状態に応じて、投与量は1回体重1kgあたり25～65国際単位、投与間隔は3～5日の範囲で適宜調整する。週1回の投与を行う場合は、体重1kg当たり65国際単位を投与する。	再審査期間中の規格追加
9	214	外用薬	ピソノテープ2mg	2mg 1枚	59.40円	トーアエイコー	ピソプロロール	頻脈性心房細動	通常、成人にはピソプロロールとして1日1回4mgから投与開始し、効果が不十分な場合には1日1回8mgに増量する。本剤は胸部、上腕部又は背部のいずれかに貼付し、貼付後24時間ごとに貼りかえる。 なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日最大投与量は8mgとする。	新効能、新用量、再審査期間中の規格追加

- ・内容についての詳細な情報又は正確な情報は、添付文書等をご参照下さい。
- ・薬価に関する情報は「官報」でもご確認下さい。
- ・承認に関する情報は「医薬品医療機器情報提供ホームページ」の新薬の承認に関する情報もご参照下さい。
- ・医薬品薬価マスターに関する情報は「診療報酬情報提供サービス」をご参照下さい。
- ・医薬品コードに関する情報は「薬価基準収載医薬品コード表(MEDIS-DC提供)」をご参照下さい。